

第3回 福岡市拠点体育館整備に関する検討委員会 議事録

日時：平成24年8月28日（火）17:30～19:00

場所：福岡市役所本庁舎15階 第4会議室

出席者

○委員 9名

山本委員長，緒方委員，茂田委員，副田委員，原田委員
樋口委員，平松委員，牧瀬委員，山口委員

○欠席委員 3名

赤池委員，添田委員，築山委員，

○説明のため出席した職員 3名

石橋スポーツ推進部長，金子スポーツ振興課長，野原主査

次第

1. 開会
2. 前回の振り返りについて
資料説明
質疑及び意見交換
3. 議題 委員会のまとめについて
資料説明
質疑及び意見交換
4. 閉会

議事録

1. 開会

事務局 (事務連絡)

2. 前回の振り返りについて

事務局 (資料1の説明)

委員長 前回の検討事項である，拠点体育館に求められる機能等について意見はありますか。

(意見なし)

委員長 意見がありませんので，この内容で確認したということとします。

3. 委員会のまとめについて

事務局 (資料2の説明)

委員長 説明の資料2については，項目ごとに検討していきます。まずは「福岡市の体育館の現状と課題」について意見ををお願いします。

委員 九電体育館の利用年数は結論が出ましたか。

事務局	今後も利用可能なように協議中です。新しい体育館が出来るまでは使用できるよう協議を行っています。
委員	新たな拠点体育館が出来た場合、市民体育館はどのように利用されるのか。
事務局	可能な限りメンテナンスを行いながら、使っていくとの方針を持っている。大規模改修は考えていないが、少なくとも安全に使えるような修繕を行い使っていきたい。
委員	新たな拠点体育館は、かなり競争率が高くなると思うが、大会が重なった場合は、今の市民体育館を代替で使用できるように、出来るだけ残す必要がある。
委員長	地区体育館のあり方や機能分担については、どのように考えていますか。
事務局	機能分担については、市民体育館及び地区体育館の配置などと併せて検討すべき課題として認識を持っている。
委員長	国際大会は、マリンメッセ等で出来るものもあり、市民スポーツについては区体育館があるが、全国大会等については現状では不足しているとの認識で一致している。 次に「拠点体育館に求められる機能等」について意見はありますか。
委員	障がい者が利用するうえでは、更衣室、トイレ、段差の有無などが、利用しやすいかの評価に繋がってくる。車椅子では押し戸は使いにくいとの意見やトイレの幅も車椅子が入れるぐらいあれば、別に車椅子専用のトイレは必要ないとの意見もあるので、そういった面での配慮があれば、非常に使いやすい施設になる。
事務局	福岡市は、ユニバーサル都市を打ち出している。ユニバーサルデザインについて、当然に具現化していきたい。
委員	今まで意見は出ていないが、レーニング室についてはどうなるのか。
事務局	一般的な機能としては想定しているが、意見をお聴きしたい。
委員	トレーニング室は充実させるべきだ。贅沢をいえば、サウナ的なものもあれば良い。
事務局	サウナというのは、意見として強く書くべきものか。
委員	ひとつの設備としての意見で、あくまでも、メインはトレーニング室である。

委員長	トレーニング室には常駐のインストラクターがいたほうが良い。そうでなければ、良いトレーニングも出来ないし、事故も心配である。
委員	市の体育館は必要に応じて指導員がいるが、アクションは専門のインストラクターがいる。
委員	大会時に盗難が頻発しているので、防犯カメラやモニター室の設置が必要である。
事務局	現在の体育館にもあるが、一般的に監視カメラ等の防犯関係の設備は備え付けるべきものと考えている。
委員	盗難防止のため、有料でも良いので、コインロッカーを多く設置する必要がある。
委員長	大学等の入学式や卒業式にも使えると、体育館の整備に対する市民の理解も広がるのではないか。
事務局	スポーツ利用で、ほとんど埋まるのではないかと考えているが、今後の利用状況も見て検討したい。
委員	今後の設計にもよると思うが、メインアリーナのバレーコートは、資料では3面だが、4面とサブアリー2面の6面にできないか。全国大会になると47都道府県プラス開催地で48チームになる。そうすると、ひとつのコートで8チーム、6面が必要になる。どこの大会でもそれで開催している。
事務局	国体基準で3面としているが、報告書のまとめでは、国際大会や全国大会が開催できる規模の整備が必要であると記載している。前回、説明した通り広さ的には4面入る。
委員	バレーボールは男女や競技人数によって、コートの広さが変わる。ポールの設置位置については計画を進める中で検討いただきたい。
事務局	国体基準でアリーナの全体の広さを示している。コートの配置は、実際の大会でどのような基準でしているかを確認して今後検討する。
委員長	本検討委員会では、総面積の検討としてご理解いただきたい。
委員	ある都市での事例だが、大学の専門の人が設計した、見た目が良くて、風が通るようなデザインの体育館だが、実際は、利用者の声が反響して周辺から苦情が

	出たり、サイドが開いているので雨が吹き込んだりの不都合があって、最近、3億円かけて補修したとの話も聞いている。このようなことが無い様に、利用者の声を聴きながら計画していただきたい。
事務局	今後、基本計画を作成するなかで、各団体には意見を伺っていきたいと思っている。
委員	バドミントンについての意見は述べていないので、今後も意見を出す場があるのを期待している。
委員	床には、競技毎のラインが引かれたものになるのか。
事務局	ラインは一般的に複数引かれていると、使いにくいと聞いている。現在も大会毎にラインを引いているので、最初から全ての競技についてラインが引かれているものは考えていない。
委員	競技者や審判が迷うので、常設のラインは引かず、大会毎に事前に準備したほうが良い。
事務局	バドミントンのみラインが引かれている場合が多いが、それは、面数が一番多いからだ理解している。
委員	バドミントンは、やっぱり面数が多いので、最初からラインが引かれているが、優遇されているかのように思われ、クレームが多い。
事務局	ラインは非常に重要な問題だと思っている。
委員	観客席は今の市民体育館は椅子も硬いし前後の間隔も狭い。釜山の体育館は、ゆとりのある観客席で、素材もやわらかくて、前後の間隔も非常にゆとりがあり応援もしやすい。今の体育館は座ってしまうとトイレも行けないような状態で、狭く窮屈であるので考慮が必要である。
委員	拠点体育館として必要な機能・設備等については、事務局は十分に把握していると考えてよいか。
事務局	一般的に備わっている機能については、把握している。
委員	先日、釜山の体育館に行ったが、周辺に色々な施設がありとても良かった。拠点体育館にも武道館や民間の施設、陸上施設も併設されると良いのではないかと思う。

委員長	この報告書（案）で進めて良いかの検討ですので、これではまずいとの部分があれば検討が必要でしょうし、細かい点の検討はこれからになる。
委員	良い体育館を作るためには、今後も競技団体の意見を聞きながら作っていくべきである。
委員	こういう検討委員会で利用者の意見を聴く場を設けたのは良い。市民体育館、地区体育館は利用者が使いにくい。意見をきちんと計画に取り入れて欲しい。
委員	新しい拠点体育館までの案内板は、自動車の利用者だけでなくJRやバスの利用者にも配慮が必要である。
事務局	ランドマーク的な公共施設の案内板は、一般的に道路の主要な分岐点には設置されるものと考えている。
委員	全国大会等の個々の会場案内は大会主催者側で準備すると思われる。
委員	競技団体だけの体育館ではなく、一般市民の方が使いやすい体育館を作る必要がある。そうでないと、この規模の体育館を作ることは理解されない。
委員長	機能面について他に意見はありませんか。
委員	交通アクセスについては、行政側で十分に検討されると思っている。
委員	体育館の横に宿泊施設があると良い。九電体育館では、敷地が狭いので無理であるが。
委員	体育館が出来た後の問題になるが、スポーツの拠点と位置づけるのであれば、近くに研修施設や青少年が宿泊できる場所があれば、国際交流の一環としての役割も果たせるのではないか。
事務局	計画としてはないが、将来的な国際交流等を考慮すれば必要性はあると思う。今後の利用状況を見ながら、次のテーマになるのではないか。需要があるなら、公共でなく民間での整備も考えられる。
委員長	最後に「拠点体育館の整備地として望ましい環境」についての意見をお願いします。
委員	オリンピック誘致のとき話のあった、須崎ふ頭での整備を検討したことはないのか。

事務局	オリンピックは国家的プロジェクトであるので、民地が多い須崎埠頭でも可能であったが、今回はそのような背景がない。実現可能な形で検討いただいている。場所については、資料2の20ページに、まとめを記載しているので、修正があれば意見を出していただきたい。
委員	大きなイベント的な大会を誘致するのであれば、須崎ふ頭のような市の中心部でも、市民の同意も得られやすいのではないか。
委員長	前回の委員会においては、アイランドシティで問題ないとなっていたが、もし問題があるのであれば、修正が必要となるので意見を出していただきたい。
委員	これだけ大きな体育館ならば、雨天時に、市民総合スポーツ大会の開会式などにも利用できて良い。
委員	アイランドシティであれば土地もゆったりしているし、緑もあって周辺環境も良い。今は無理だと思うが、将来的には陸上競技場や研修・宿泊施設も併設して博多の森のような場所になって欲しい。
委員	観客には慣れるまでは遠いと思うかもしれないが、競技者にとっては、けっして遠い場所ではない。
委員	土地が売れないからアイランドシティに持って行っていくと考えている市民もいる。私たちもしっかり話し合っ、行政もしっかり考えて、市民が夢のもてる施設に展開していくよう頑張っていかなければならない。
委員長	体育館は市のスポーツビジョンを体現するような施設となるべきである。
委員	体育館には、堅苦しい名称ではなく、市民に親しまれるような名称を付けるべきだ。
事務局	条例事項になるが、施設名を公募するようなこともあるので、先の話だが検討していきたい。
委員	アイランドシティに整備すると決まったら、1年でも1日でも早く整備して欲しい。
委員長	体育館の整備地についてですが、資料2の20ページのまとめは、このまま修正無しでよろしいか。
	(修正意見なし)

委員長	<p>全体を振り返って、ご意見をいただきたい。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>国のスポーツ基本計画の中に、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の目標値がありますので、事務局はその数値を資料に追加をしてください。</p> <p>それでは、他になければ検討作業はこれで終わります。色々な意見が出たが、4 回目の検討委員会は開かないので詳細や最終判断については、私に任せていただきたい。</p> <p>委員会終了後に一定の期間を設けるので、資料に目を通していただき、意見があれば追加で出していきたい。</p> <p>それでは、これで検討委員会を終了します。</p>